

AQUOS U

SHV37

取扱説明書

- ・本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・免責事項については、『ご利用にあたっての注意事項』をご参照ください。

2016年10月第1版
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:シャープ株式会社
TINSJB214AFZZ

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について（通話料無料）

受付時間 9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは | au電話からは
 0077-7-111 | 局番なしの 157 番

Pressing “zero” will connect you to an operator,
after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて（通話料無料）

受付時間 24時間（年中無休）

一般電話からは | au電話からは
 0077-7-113 | 局番なしの 113 番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

 0120-977-033（沖縄を除く地域）

 0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

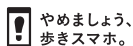
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

一般電話／au電話から
 0120-925-919



モバイル・リサイクル・ネットワーク
詳細は PHS の U サイクルをご覧ください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの
原因となり大変危険です。

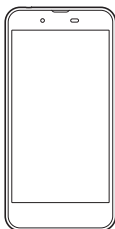
ごあいさつ

このたびは、「AQUOS U SHV37」(以下、「SHV37」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に本体付属の『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

- 取扱説明書
- ご利用にあたっての注意事項
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモ리카ード
- イヤホン
- ACアダプタ
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『取扱説明書』『設定ガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。

また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホーム画面に「アプリシート」を表示→[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、auホームページでご確認できます。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual, Notes on Usage and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

Also, you can use the "Instruction Manual application" (English version) on the product to check operational procedures (available from approximately one month after the product is released).

また、本製品では、本体内で操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション(英語版)』を利用できます(発売約1ヶ月後から)。

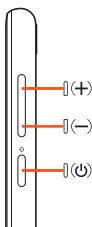
On the home screen, "Apps Sheet" → [Basic Manual].

- To use the application for the first time, you need to download and install it by following on-screen instructions.

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話]→「141」を入力→[発信]	Feel Home画面をスライド／フリックしてアプリシートに切り替え、次に「電話」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
⏻(2秒以上長押し)	⏻を2秒以上長押しします。

※タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面



本書の表記例

- ◎ 本書では本体カラー「ライム×ゴールド」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書ではFeel Homeでの操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「microSD™メモ리카ード(市販品)」「microSDHC™メモ리카ード(市販品)」および「microSDXC™メモ리카ード(市販品)」の名称を「microSDメモ리카ード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

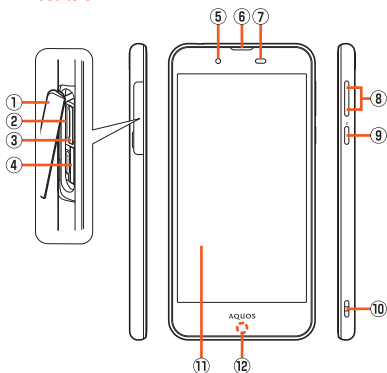
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

各部の名称と機能

■ 正面／左右側面



① au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードカバー

② IMEIトレイ

本製品のIMEIを確認できます。

③ au Nano IC Card 04トレイスロット

④ microSDメモ리카ードスロット

⑤ インカメラ(レンズ部)

⑥ 受話口(レシーバー)／スピーカー

⑦ 近接センサー／光センサー

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。

光センサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。

⑧ $\mathbb{I}$ (+) $\mathbb{I}$ (-)音量UP／DOWNキー

音量を調節します。

ロック画面で $\mathbb{I}$ (-)を長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。

⑨ $\mathbb{I}$ ($\odot$)電源キー

画面を点灯／消灯します。

長押しすると、電源ON／OFFや再起動ができます。

⑩ ストラップ取付口

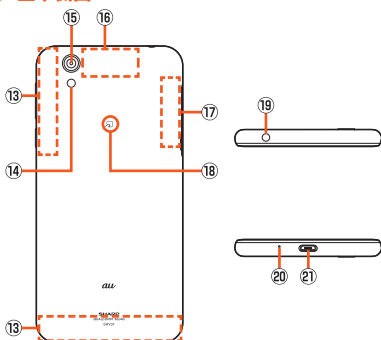
⑪ ディスプレイ(タッチパネル)

ディスプレイの表面には保護フィルムが貼られています。市販の保護フィルムをご利用の場合は、保護フィルムをはがしてください。

⑫ 充電／着信ランプ

お買い上げ時は、就寝時(23:00～6:30)の間、自動的にランプの明るさを抑えます。

■ 背面／上下側面



⑬ 内蔵アンテナ

⑭ モバイルライト

⑮ アウトカメラ(レンズ部)

⑯ GPSアンテナ

⑰ Wi-Fi®/Bluetooth®アンテナ

⑱ マーク

おサイフケータイ®やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

⑲ イヤホンマイク端子

⑳ 送話口(マイク)

㉑ 外部接続端子

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などを接続すると、接続機器の磁気が地磁気センサーに影響し、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

○ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

○ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」(▶P.9)をご参照ください。

au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードカバーについて

○ au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードカバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

IMEIトレイについて

○ IMEI(端末識別番号)は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。IMEIトレイを引き出して本製品のIMEIを確認できます。

○ IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報です。

○ IMEIトレイを本体から取り外すことはできません。無理な力がかからないよう取り扱いにはご注意ください。

○ 本製品を操作してIMEIを確認することもできます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]→[SIMのステータス]と操作して、IMEI欄を確認

ディスプレイ(タッチパネル)について

○ 対応する市販のフリップカバーを装着すると、フリップカバーの開閉によってディスプレイの表示／非表示を切り替えることができます。装着したフリップカバーは、斜めに閉じるとディスプレイの表示が消えないことがあります。

近接センサー／光センサー、受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)について

○ 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー通話に切り替えたときや通話が終了したときに、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。

○ 近接センサー／光センサーの上にシールなどを貼ると、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

○ 受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

内蔵アンテナ、Wi-Fi®/Bluetooth®アンテナ、GPSアンテナについて

◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

イヤホンマイク端子について

◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

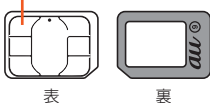
au Nano IC Card 04を利用する

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

au Nano IC Card 04

IC(金属)部分



表

裏

◎ au Nano IC Card 04着脱時は、必ず共通ACアダプタ05(別売)などのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。

au Nano IC Card 04を取り付ける

au Nano IC Card 04の取り付けは、本製品の電源を切ってから行ってください。

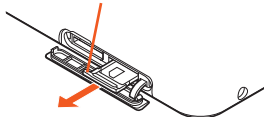
1 au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードカバーを開ける

ミゾに指先をかけて手前に引き出し(①)、矢印の方向に回転させて開いてください(②)。



2 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す

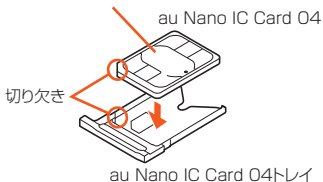
au Nano IC Card 04トレイ



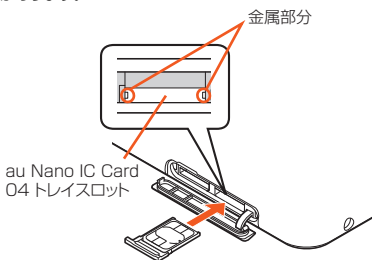
3 au Nano IC Card 04トレイにau Nano IC Card 04を装着する

au Nano IC Card 04とau Nano IC Card 04トレイの切り欠き方向に注意して、ゆっくりと装着してください。

IC(金属)部分を上に



- 4 au Nano IC Card 04トレイスロットの両側の金属部分に引っ掛からないように注意して、au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む**
au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。



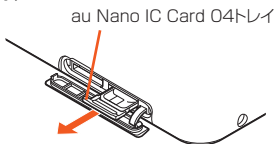
- 5 au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードカバーを閉じる**

- ◎ au Nano IC Card 04トレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。
- ◎ 取り外したau Nano IC Card 04トレイは紛失・破損しないようにご注意ください。

au Nano IC Card 04を取り外す

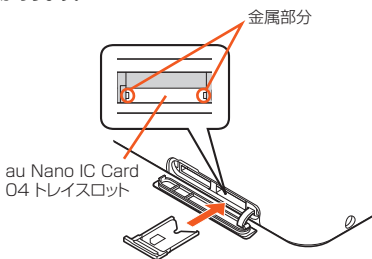
au Nano IC Card 04の取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

- 1 au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードカバーを開ける(▶ P.5)**
- 2 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す**



- 3 au Nano IC Card 04トレイからau Nano IC Card 04を取り外す**
- 4 au Nano IC Card 04トレイスロットの両側の金属部分に引っ掛からないように注意して、au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む**

au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。



- 5 au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードカバーを閉じる**

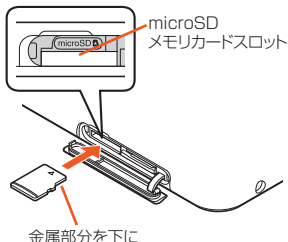
microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードを取り付ける

- 1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける(▶P.5)
- 2 microSDメモリカードをmicroSDメモリカードスロットにゆっくり差し込む

挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。

また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



- 3 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる

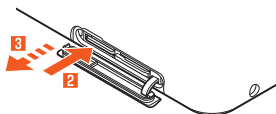
- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、microSDメモリカードのマウントを解除してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

- 1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける(▶P.5)
- 2 microSDメモリカードを奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



- 3 microSDメモリカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く
- 4 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる

- ◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

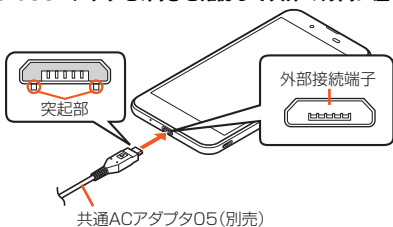
- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- 充電中は充電／着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに⚡が重なって表示されます。約95%まで充電されると充電／着信ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、強制的に電源を切り(▶P.9)、電源を入れ直してください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

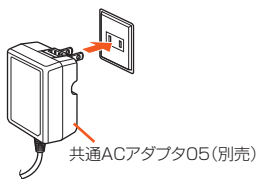
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)について詳しくは、「周辺機器」(▶P.19)をご参照ください。

- 1 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む**



- 2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**



- 3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く**

- 4 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く**

- ◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01 (別売) をパソコンのUSBポートに接続
- 2 microUSBケーブル01 (別売) を本製品に接続

- ◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ (別売) での充電と比べて時間が長くなる場合があります。
- ◎ 本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ (別売) を使用して充電してください。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

- 1 電源が切れた状態で ⏻ (2秒以上長押し)

- ◎ 電源を入れてから「AQUOS」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

■ 電源を切る

- 1 ⏻ (2秒以上長押し)
- 2 [電源を切る]

■ 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

- 1 ⏻ (2秒以上長押し)
- 2 [再起動]

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

- 1 ⏻ (8秒以上長押し)

バイブレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

- ◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。

本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

- 1 ⏻ (2秒以上長押し)
- 2 「電源を切る」をロングタッチ→[OK]

セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには再起動してください。

- ◎ 電源が切れているときは、 ⏻ (2秒以上長押し) で電源を入れ、SHARPロゴが表示されてからロック画面が表示されるまで ⏻ を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
- ◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

画面点灯／消灯について

⓪(⓪)を押すか、一定時間操作しないと画面が消灯します。

■画面を点灯する

1 画面消灯中に⓪(⓪)

- ◎ ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入れると、誤動作の原因となります。

■持つと画面点灯について

「持つと画面点灯」が設定されている場合は、本製品を持ち上げて静止すると、画面が点灯します。(お買い上げ時、この機能は有効になっています。)

- ◎ 次の場合などでは、点灯しないことがあります。
 - ・ 本製品を持ったまま動いている(歩行中や乗車中などの)場合
 - ・ 持ち上げる前やその後に本製品を動かし続けている場合
 - ・ 垂直または水平に持ち上げた場合
- ◎ 「持つと画面点灯」の使いかたは、「体験しよう！」アプリで確認することができます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→「体験しよう！」→「持つと画面点灯」

ロック画面について

画面を点灯するとロック画面が表示されます。

見るだけ解除機能を利用して、ロック画面を見るだけで、インカメラで目をスキャン(認識)し、すぐに画面ロックを解除することができます。



《ロック画面》

① 壁紙

② アドレス帳プラス

アドレス帳に登録された各種情報を表示します。また、お気に入りなど、よくつかう連絡先をお知らせエリアに表示することができます。

③ お知らせエリア

不在着信／新着Eメール／新着SMSなどの通知がポップアップ表示されます。通知をダブルタップすると対応した画面が表示されます。
お知らせエリアを下にドラッグすると、通知の一覧が表示され、通知をタップすると対応した画面が表示されます。

④ ショートカット

「」を画面上部にスライドするとショートカットが表示されます。

⑤ 時計／エモバーエリア

⑥ 画面ロック

「」を画面上部にスライドすると画面ロックを解除できます。

- ・ 「画面ロック」にパスワードなどを設定しているときは  が表示されます。

⑦ カメラ起動

「」を画面上部にスライドするとSHカメラを起動します。

Feel Homeを利用する

Feel Homeはデスクトップシート、アプリシート、ドックで構成されたホーム画面です。

デスクトップシートではウィジェット／ショートカット、アプリシートではアイコンをタップすると機能を利用できます。ドックにはお気に入りアプリのショートカットを登録することができます。

- ホーム画面を左右にスライド／フリックすることで、デスクトップシート／アプリシートを切り替えることができます。

シートの切り替えイメージ



《デスクトップシート》

《アプリシート》

■ Feel Homeの見かた



① ステータスバー

② デスクトップシート／アプリシート

③ ドック

アプリケーションのショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

④ ナビゲーションバー

⑤ ガイドタブ

デスクトップシート／アプリシートを切り替えたときに、シート名を表示します。

⑥ ページインジケータ

デスクトップシート／アプリシートの現在の表示位置を表示します。

- デスクトップシート／アプリシートを上下にスライド／フリックすると、ページを切り替えることができます。

- 「」をロングタッチするとGoogle™アプリが起動し、本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。

- ・ 次の操作で「」をロングタッチして起動するアプリを変更できます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]→[]→[既定のアプリ]→[アシストと音声入力]→[アシストアプリ]→起動するアプリを選択

ステータスバーを利用する

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	新着PCメールあり
	新着Gmail™あり
	発信中、通話中、着信中
	auのVoLTE対応機種と高音質通話中
	保留中
	伝言メモ情報あり
	本体メモリの空き容量低下
	利用可能なアップデートあり
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態  ~  : 残量表示  : 残量なし ・充電中は電池マークに  が重なって表示されます。 ・電池マークの左に電池残量が%で表示されます。
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界)  ~  : レベル表示  : 圏外 ・ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。  : LTE/WiMAX 2+使用可能※ ・通信中は  が重なって表示されます。
	ローミング中
	マナーモード状態  : 通常マナー  : サイレントマナー  : アラームのみ  : 優先する通知のみ
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「消音」に設定中
	伝言メモ設定中  : 伝言メモなし  : 伝言メモあり(1~9件)  : 伝言メモが10件

※「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードやのぞき見ブロックなどを設定できます。

■ お知らせパネルを表示する場合

1 ステータスバーを下にスライド

■ ステータスパネルを表示する場合

1 ステータスバーを2本の指で下にスライド

「」をロングタッチしてもステータスパネルを表示することができます。

■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせパネル》

《ステータスパネル》

① お知らせ

本製品の状態や通知の内容を確認したり、アドレス帳プラスの設定を行うことができます。通知をタップすると対応するアプリケーションを起動できます。

- ・通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
- ・表示範囲を上にはスライドすると、隠れているお知らせを表示できます。
- ・通知を2本の指で上下にはスライドまたはピンチイン／ピンチアウトすると詳細表示と簡易表示を切り替えられます。
- ・通知をロングタッチ→[①]と操作すると、アプリの通知を設定できます。

② すべて消去

タップすると通知がすべて消去されます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。

③ 明るさ調整バー

バーを左右にスライドして明るさを設定します。

④ 機能ボタン

よく使う機能の設定を変更することができます。操作方法は機能によって異なります。

⑤ 設定

タップすると本製品について、各種設定を行います。

⑥ カスタマイズ

表示する機能ボタンを変更したり並べ替えたりできます。

⑦ 電池残量

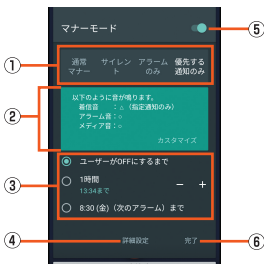
タップすると電池利用状況を確認できます。

◎ 画面を上下にはスライド、または画面上部をタップすると、お知らせパネル／ステータスパネルを切り替えられます。

■ マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。

1 ステータスパネルを表示→機能ボタンの「マナーモード」をタップ



《マナーモード設定画面》

① マナーモードの種類

② 動作説明

③ 解除までの期間

④ 詳細設定

⑤ ON／OFF設定

タップするとマナーモードを解除します。

⑥ 完了

マナーモードの設定を終了します。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

例：アルバムを起動した場合

1 「アプリに必要な許可」の確認画面→[次へ]

2 [許可しない]／[許可]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定する

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

■ アプリごとに利用する機能を設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]

2 アプリを選択→[許可]

3 機能を選択

■ 機能ごとに利用するアプリを設定する

**1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]→
[⚙]→[アプリの権限]**

2 機能を選択

3 アプリを選択

- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

ソフトウェアキーボードを切り替える

1 文字入力画面→[⚙]→[入力方式]→[QWERTYキーボード]／[12キーボード]

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[プロフィール]

機内モードを設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[機内モード]

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

また、OSアップデートも、ソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[システムアップデート]

ソフトウェア更新が必要かどうかの確認を開始します。「アップデートをチェック」をタップして確認します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。

- ・ステータスバーに  が表示されている場合は、ステータスバーを下にスライドし、通知をタップして画面に従って操作してください。

2 [ダウンロード]→[再起動してインストール]

■ ご利用上の注意

- ・パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、SHV37をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHV37をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ・国際ローミング中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ・OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ・ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新実行中にできない操作について

- ・ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「トラブル診断」を行ってください。

ホーム画面に「アプリシート」を表示→[故障受付]→[トラブル診断]

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	・ (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？(▶P.12) ・内蔵電池が寿命となっていませんか？電池の状態を確認してください。(▶P.8) ・十分に充電されていますか？(▶P.8) ・使用していない機能を停止してください。(▶P.12)
電話がかけられない	・au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.5) ・「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.14) ・電源は入っていますか？(▶P.9)
電話がかかってこない	・電波は十分に届いていますか？(▶P.12) ・サービスエリア外にいませんか？(▶P.12) ・「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.14) ・電源は入っていますか？(▶P.9) ・au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.5)
相手の方の声が聞こえない	・受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
microSDメモリカードを認識しない/目的のデータが見つからない	・microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？(▶P.7) ・本体メモリにデータを保存していませんか？microSDメモリカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。
キー/タッチパネルの操作ができない	・電源を切り、電源を入れ直してみてください。 ・電源は入っていますか？(▶P.9)
充電ができない	・指定の充電用機器(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？(▶P.8)
電源が入らない	・内蔵電池は充電されていますか？(▶P.8) ・ を長押ししていますか？(▶P.9)

こんなときは	ご確認ください
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	・ 〇(〇)を8秒以上長押しし、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.9)
タッチパネルで意図した通りに操作できない	・ 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ ・ 再起動してください。(▶P.9)
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	・ 本製品に大量のデータが保存されているときや、本体メモリとmicroSDメモ리카ードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
au ICカード(SIM)エラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	・ au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.5)
電源が勝手に切れる	・ 電池が切れていませんか？(▶P.8)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	・ 電池が切れていませんか？(▶P.8)
 (圏外)が表示される	・ 電波は十分に届いていますか？(▶P.12) ・ サービスエリア外にいませんか？(▶P.12) ・ 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？(▶P.4) ・ au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.5)
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	・ マナーモードに設定されていませんか？(▶P.13)
充電してくださいなどと表示された	・ 電池残量がほとんどありません。(▶P.8)
電話をかけたときに受話口から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	・ 電波は十分に届いていますか？(▶P.12) ・ サービスエリア外にいませんか？(▶P.12) ・ 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページのauお客さまサポート「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/trouble/>

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ 本体以外の同梱品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHV37本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
 - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイサポートプラスLTE 会員	安心ケータイサポートプラスLTE 非会員
交換用携帯電話機お届けサービス (自然故障：1年目)	無料	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス (自然故障：2年目以降)	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス (部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失)	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	補償なし
預かり修理 (自然故障：1年目)	無料	無料
預かり修理 (自然故障：2年目以降)	無料(3年間保証)	実費負担
預かり修理 (部分破損)	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
預かり修理 (水濡れ、全損)	お客様負担額 10,000円	実費負担

サービス内容	安心ケータイ サポートプラスLTE 会員	安心ケータイ サポートプラスLTE 非会員
預かり修理 (盗難、紛失)	補償なし	補償なし (機種変更対応)

※ 金額はすべて税抜

■「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円/ 長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円/ 長期ご利用特典※1 6,000円
「WEB割引」※2/「代用機なし 割引」※3の両方を適用	4,000円/ 長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円/ 長期ご利用特典※1 5,000円
「代用機なし割引」※3のみを適用	4,500円/ 長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円/ 長期ご利用特典※1 5,500円

※ 金額はすべて税抜

※1 3年目(25カ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※2 WEB割引: auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
「WEB割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。

※3 代用機なし割引: 「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付(24時間受付)

※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

https://cs.kddi.com/support/n_login.html

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色※)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内に返却ください。

※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除について

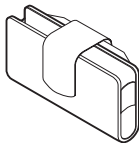
本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ・ SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- ・ 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ SIMロック解除後の設定は、ホーム画面に[アプリシート]を表示→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]→[SIMのステータス]→[SIMロックの状態]から行ってください。
- ・ 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://cs.kddi.com/support/simcard/>

周辺機器

■ auキャリングケースGブラック(0106FCA) (別売)



■ 共通ACアダプタ03(0301PQA) (別売)

共通ACアダプタ05(0501PWA) (別売)

共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA) (別売)

共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA) (別売)

共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA) (別売)

共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA) (別売)

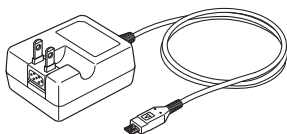
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト) (L02P001W) (別売)

AC Adapter JUPITRIS(レッド) (L02P001R) (別売)

AC Adapter JUPITRIS(ブルー) (L02P001L) (別売)

AC Adapter JUPITRIS(ピンク) (L02P001P) (別売)

AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド) (L02P001N) (別売)



共通ACアダプタ05

・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ ポータブル充電器02(0301PFA) (別売)

■ microUSBケーブル01(0301HVA) (別売)

microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA) (別売)

microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA) (別売)

microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA) (別売)

microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA) (別売)

◎ ポータブル充電器02(別売)では、本製品を十分に充電できない可能性があります。

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<http://auonlineshop.kddi.com/>

主な仕様

■ 本体(SHV37)

ディスプレイ	約5.0インチ、約1,677万色、IGZO、1,280×720(HD)
質量	約137g(内蔵電池含む)
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約71mm×143mm×8.3mm(最厚部:約8.4mm)
メモリ(内蔵)	RAM:約2GB Internal Storage:約16GB
連続通話時間(国内)	約1,440分
連続通話時間(海外 (GSM))	約1,070分
連続待受時間(国内)	約950時間
連続待受時間(海外 (GSM))	約1,070時間
連続テザリング時間	約900分
Wi-Fi®テザリング 最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05(別売)使用時:約140分
撮像素子	アウトカメラ CMOSイメージセンサー インカメラ CMOSイメージセンサー

有効画素数	アウトカメラ 約1,310万画素 インカメラ 約500万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.4.2 出力:Bluetooth®標準規格Power Class 1 通信距離※1:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※2:GATT、HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※3、HID、PAN、PAN NAP、PANU、aptX、HOGP※4、DUN※5 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	IEEE802.11b/g/n(2.4GHz)準拠
インターフェース	microUSB端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン:3極ヘッドホン(Lch/Rch/GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch/Rch/GND/MIC))

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

※3 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

※4 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHV37】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.555W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.568W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

○ シャープのホームページ:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

○ auのホームページ:

<http://www.au.kddi.com/>

CE Declaration of Conformity



Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHV37 is in compliance with Directive 2014/53/EU.
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

Sharp Corporation, IoT Communication BU
2-13-1 Iida Hachihonmatsu
Higashihiroshima-City
Hiroshima,
739-0192
Japan

• Description of accessories

Headset, Handsfree	ø 3.5 audio jack, Bluetooth.
microUSB cable	For Charging, Peripherals, etc.
microSD memory card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano UIM card	au Nano IC Card/non-au Nano IC Cards non-au Nano IC Cards can be used after SIM-unlocking the handset.

• Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (Bandwidth: 20 MHz only)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GPS	Rx L1 (1575.42 MHz)

• Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+4.3 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+11.0 dBm
NFC	-10 dBμA/m at 10 m

■ Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance.
Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

■ AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■ Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

■ Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 119.0 mV.

■ Stand-by Mark

 : This symbol means the stand-by on/off.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.510 W/kg[※] and when worn on the body is 1.340 W/kg[※].

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Authentication under the Settings menu.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHV37
FCC ID	APYHRO00243
At the Ear	0.69 W/kg
On the Body	0.94 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.